

少年センターだより

発行



日野町少年センター

日野町河原1-1

TEL0748-53-1325

<https://syonen.jp>

日野町少年センター



子育ての悩み解消に向けて、日野町教育委員会で「子育て・親育ち講座」が開催されました。講師に「楽育のたね」主宰の中島みちる氏を迎え、『「こころ」も「からだ」も育む子育て～どうしたらいい？子どものイヤイヤ、親のイライラ～』と題して講演会が行われました。中島氏は、町内の幼稚園でも講演をされており、日野町の子育てに大きく協力してくださっています。

大人の影響を受けて育つ子ども

講演の冒頭、「人は、いつも周りにいる5人の平均をとったような人になる」とし、母親だけが子育てのプレッシャーを感じるのではなく、家族や地域の力が、子育てに大きく働いているとおっしゃった。母親への気遣いと同時に、周りの大人の影響の大きさについて、教えてくださいました。その後次の3点について、具体例を挙げながら講演されました。



①大人も子どもも「気づく」「知る」が大切

「イヤ」の原因、イライラの原因をはじめ、脳の発達について「知る」ことが大切です。「子どもだからわからない」で済ませるのではなく、何回も具体的に話し、大人が見本を見せながら伝えていくことが大切です。一方的に教えられたことは身につけづらいのが子どもたち。以前に教わったことを思い出させ、気づかせて身につけていくことが大切です。

②「イヤ」という言葉を使わない

「イヤ」という言葉を大人が使わなければ、子どもは積極的には使いません。「イヤ」という言葉の奥にある子どもの思いを探り、その感情を表す言葉を丁寧に教えていきましょう。(例:「今の『いや』は『困ってる』ってことなんちゃう？そういう時は『いやや』じゃなくて『困った』って教えてね」) 後ろ向きな感情は決して悪い感情ではありません。むしろ、とても大切な感情です。自分の中にあるネガティブな思いと上手につきあえるようになると、グズグズが長引いたり、すぐにキレたりすることが少なくなります。

大人がすすんで使いたい言葉

うれしい 楽しい わくわく 満足
おもしろい 落ち着く すっきり 不安
こわい さびしい 心配 困る 悔しい
恥ずかしい うらやましい など

③約束は子どもをほめる機会に

やってはいけないことをしたときは、きちんと叱ります。でも、なぜそんなことをしたのかと理由を問いただすことに終始するよりも、次、同じ失敗を繰り返さないためにはどうしたらよいかを子どもと一緒に考えることが大切です。そして、同じ失敗を繰り返さずに済んだときには、大げさなく褒め、認め、これを繰り返すことで、望ましい行動が身につけていきます。大人だって約束を破ることはあります。約束は、子どもを叱るためにかわすものではありません。子どもたちが約束を破りそうなときには「あれ？どうしたらよかったかな？」と気づく機会を作り、「あっ、そうやった」と子どもたちが自ら望ましい行動をとれるように導いていきたいものです。

「子どもの笑顔」

こばと園 園長 正木 朋美

園に珍しく男性のお客様が来られました。部屋に案内しているところへ、3歳児の男の子がニコニコとやってきて、「おじさ～ん」と嬉しそうに声を掛けましたが、そのあとに続いて何を言っているかはいまいかと思いつかばない様子でした。そこで「『おじさん、こんにちは』って言うのよ」と様子を見に来た保育士が言うと、男の子は「おじさん、こんにちは」と言い、お客様からもあいさつしてもらい、上手にあいさつできたことも褒めてもらって、男の子は、もっとニコニコして保育室に戻っていきました。



「おじさ～ん。」だけでは、お客様にとっては冷やかしかただけに聞こえるかもしれない言葉も、周りの大人が「言ってほしい言葉」を言うことで、男の子はその場にふさわしい言葉を使うことができ、次からもきちんとあいさつしてくれると思います。



日頃から大人が「子どもたちに言ってほしい言葉」を使うことで、子どもたちは「正しい言葉」を身につけることができます。友達と遊んでいる中で、相手を「おまえ」と呼んでいる子に「○○ちゃんって呼んでね」と言います。「廊下は走りません」と言うより「廊下は歩きましょう」と言う方が、怒られた感がないように聞こえます。誰しも、命令されたり怒られたりするのには嫌な気持ちになるので、それなら言われても前向きになれる言葉、嬉しい言葉の中で、毎日居心地よく生活できる方が良いなあと思っています。

子どもたちには、居心地のよい中で、正しい美しいことばをたくさん聞いて、身につけて、大人になって行ってほしいと思います。

子育て小窓

新年度のスタートやGWなどがある春。大人も子どもも、知らず知らずにストレスをためがちです。気持ちが晴れない、さびしかったり不安になったり、イライラしたりすることが増えていませんか？

こんな時こそ、『食べる・寝る・しゃべる・動く（活動する）』がキーポイント！当たり前前にしていることだから、見落としがちですが、身体とこころの健康に大切なことだといわれています。

ストレスのこととなると、何だかこころのことばかりに気が取られがち。でも、まずは生活や身体を調整しましょう。そうすると、気持ちが整う土台ができます。そして、しゃべる・動くことで、リフレッシュやリラックス。これができること、食べたり寝たりしやすくなり、少しずつ気持ちいい循環になっていきます。

重要なのは、今の自分に“ちょうどいい” “ほどほど” の量です！

『食べる・寝る・しゃべる・動く』 ちょっと立ち止まって、今の自分にちょうどいい量を見つけてみてくださいね。

〈日野町子育て・教育相談センター K 〉

令和6年度日野町少年補導委員会がスタート

4月1日(月)日野町少年補導委員委嘱状交付式及び総会が林業センターホールで開催されました。

はじめに令和5年度で少年補導委員を退任される方に吉田東近江警察署長、堀江日野町少年センター運営委員会会長から感謝状が贈呈されました。また2期4年続けられた方に、少年補導員功労者感謝状が東近江警察署長から贈呈されました。

続いて、令和6年度から2年間少年補導活動に携わっていただく新しい少年補導委員7名を加えた、23名に委嘱状と少年補導委員証の交付が行われました。これから2年間青少年の健全育成にご尽力いただきます。

その後、令和6年度総会が開催され、会長には外池多津彦さん、副会長には吉澤茂樹さんが選出されました。また令和6年度の活動として、あいさつ運動の普及や園児を対象にしたペープサートによる非行防止教室、文化祭での啓発活動などが決定されました。

お世話になった少年補導委員

氏名	在任期間
竹村 一男	14年
池内 美代子	12年
河副 正美	8年
森田 貴美恵	6年
川原 繁	6年
奥野 正巳	2年
竹内 千代美	2年



会長就任にあたって

会長 外池 多津彦



この度の総会において会長に選出されました外池多津彦です。まだまだ若輩者ですが、先輩諸氏とともに委員会の活動に全力で取り組んで参りますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、青少年を取り巻く環境は、少子高齢化、核家族化、ICT化が進む中、規範意識や家庭・地域での子育て機能の低下、不登校児童生徒の増加、SNSに起因する犯罪や、薬物乱用・非行・いじめなど



様々な課題が社会問題となっています。このような状況の中、青少年の健全育成に向けて我々少年補導委員は街頭補導活動、啓発活動をますます活発にすすめていかなければならないと考えております。微力ながら精一杯努めて参りますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年度日野町少年補導委員

公民館	氏名	公民館	氏名
日野地区	◎外池 多津彦 (村井2区)	西大路地区	平岡 喜志夫 (仁本木)
	大宗 正和気 (五月台)		藤岡 美雪 (西大路2区)
	福本 喜美代 (寺尻)	鎌掛地区	奥村 貴代 (鎌掛第2)
	瀧井 恭子 (大窪5区)	☆野崎 宗久 (鎌掛第3)	
	遠藤 鉄夫 (河原)	南比都佐地区	谷 たづ子 (下駒月)
東桜谷地区	☆外池 孝澄 (松尾1区)	必佐地区	藤澤 育弘 (清田)
	☆門谷 則子 (上野田)		○吉澤 茂樹 (湖南サンライズ)
西桜谷地区	☆奥村 英幸 (奥師)		安田 均 (内池東)
	☆堀江 やち代 (杣)		富田 忠夫 (三十坪上)
西桜谷地区	田上 真由美 (北脇)		久村 眞里子 (豊田5区)
	☆奥野 八千代 (蓮花寺)	西村 聡 (猫田)	
		☆本居 節子 (湖南サンライズ)	

◎会長 ○副会長 ☆新委員

「おはよう」から始まる楽しい一日 ～あいさつ運動の輪を広げましょう～

少年補導委員会をはじめ、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司会、更生保護女性会、各校PTA、地域の各種団体等が一体となって子どもとつながり、見守る活動をしています。

このあいさつの輪を広げ、日野町のみんなで、さわやかに「おはよう！」とあいさつしてくれる子どもたちの一日が、楽しいものになるよう応援していきましょう。



つぶやき

14年間、少年補導委員として活動してきましたが、この度終えることになりました。微力ながらお手伝いできたことを喜んでおります。その間、パトロール活動、啓発活動、あいさつ運動、先生方との情報交流などに取り組んできました。中でも、幼児から中学・高校生にいたるまでの子どもたちとの交流が、健全育成につながったのではないかと考えています。しかし最近、地域のつながりの希薄さと共に、子どもたちとのつながりも薄れてきているのではないかと不安を感じています。日野町の文化や歴史、また地域社会のつながりを、大人が進んで伝えていくことが、より子どもたちとの交流が進み、若者の健全な育成につながるのではないかと考えています。これには、地道な取組が必要だと思いますが、いつまでも夢を抱いて目的に向かう子どもたちのために、ずっと応援していこうと思っています。

少年補導委員会 前会長 竹村 一男

不正大麻・けし撲滅運動 5月1日～6月30日

「大麻」や麻薬の原料となる「けし」は、法律で栽培や所持が禁止されています。「けし」は美しい花が咲くため、植えてはいけない「けし」を、違法と知らずに植えられていることがあります。

不正に栽培もしくは自生している「大麻」や「けし」を発見した場合は、すぐに県庁薬務課、最寄りの保健所または警察署へご連絡ください。

県庁薬務課：☎077-528-3634

ひとりで悩まないで まずは相談を！

少年センターでは、少年に関する悩みや心配ごとの相談を行っています。お気軽にお越しください。秘密は厳守します。
○来所相談 ○電話相談 ○メール相談
○来所・電話時間：月～金 9:00～16:30

日野町少年センター

(日野町勤労福祉会館2階)

電話 0748-53-1325

E-mail hino@syonen.jp

日野町少年センター

